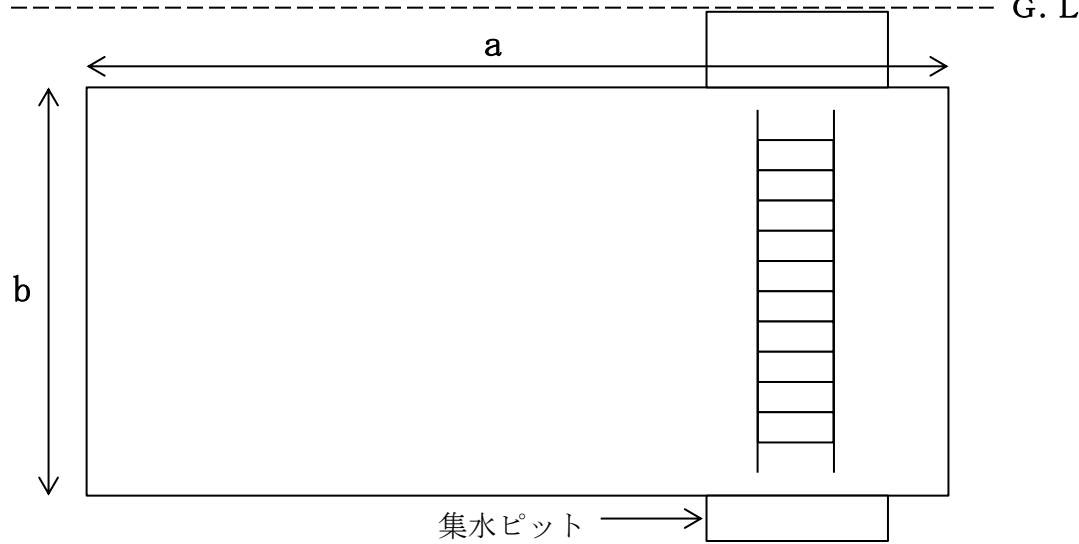


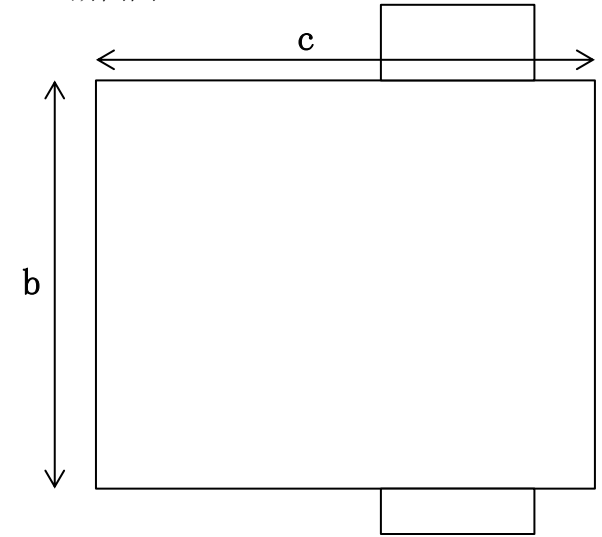
防火水槽 標準構造図 (参考)

※基本的には東京消防庁消防水利施設構造基準に則ること

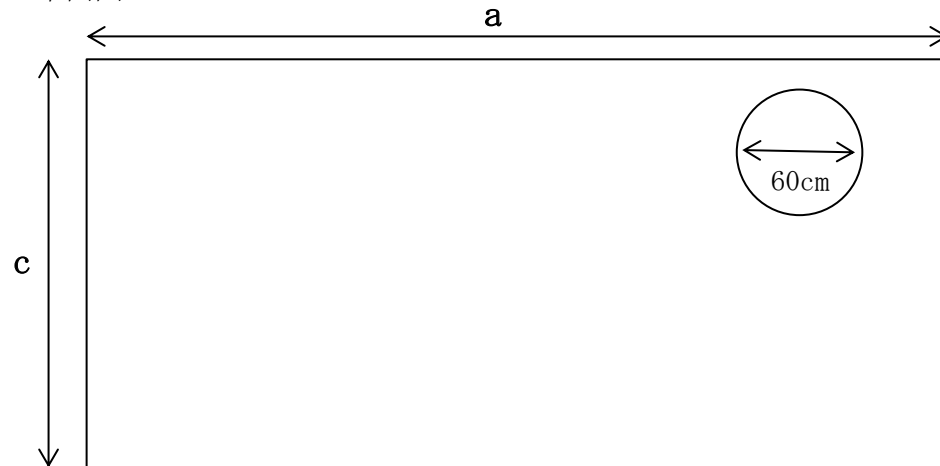
側面図



断面図



平面図



特記事項

- ・ $a \times b \times c$ で水槽内の水量が、常時 40m^3 以上確保できること。
- ・ 躯体上部から G. L. まで 1m 以上埋めること。
- ・ 水槽内部に入る際に必要な梯子を設置すること。
- ・ 吸管投入口は直径 60cm とする。また、消防用鉄蓋及び落下防止装置を講ずること。
- ・ 消防用鉄蓋には、溶着塗装 (黄色) とすること。
- ・ 水槽設置付近に、消防水利標識を設置すること。
- ・ 公園内に設置する時は、吸管投入口はポンプ車停車位置より 2m 以内になるように努めること。
- ・ 集水ピットは吸管投入口真下に設置すること。大きさは、奥行き 50cm ・ 横 100cm ・ 深さ 30cm とすること。
- ・ 標識、蓋についても東京消防庁消防水利施設構造基準に則ること。